

自動二輪免許に挑戦

桜ヶ丘 山本二三夫さん



愛用している原付が寿命となってきたので買い替えを考えていたが、どうせならもう少し大きいものに乗りたいものだと思い、自動二輪免許を取ろうと自動車学校へ申し込んだ。

二輪の受講者は四輪とは違い、20歳前後の若者ばかりで、30歳以上と思われる人はめったに見られず私は大変目立った。原付や自動車は30年以上も乗っており、すぐに卒業出来るものと簡単に考えていました。ところが加齢による運動能力の衰えは思っていた以上のもので、運転練習の補習を何回も重ねてやっと卒業検定となったが、「一発での合格」の期待に反して、コースの一本橋を通過できず不合格となった。

2回目の検定でも通過出来ず、3回目にも落ちたときに検定員に、「また落ちました、自分ながら情けない」と愚痴ったところ、「60歳を過ぎても試験に挑戦するだけでも立派です」と慰められた。

周りは新しく入った人ばかりで、顔なじみはもう誰もいない。

奮起して4回目の挑戦でやっと合格できました。もう入所日より一カ月を過ぎていた。

合格して二輪指導員に提出した誓いのことば

- 家族に心配かけないように安全運転に努めます。
- 一生無事故、無違反でがんばります。



心はゴールドで！！ 光台 峰 昭子さん



私が最初に仕事をいただきましたのは「私のしごと館」での受付やイベントの案内等で、当時話題の「私のしごと館」で、建物や設備の立派さに感動したのを今も鮮明に覚えております。

その後「シルバーパソコン講習会」のお手伝いをさせていただきました。

5月末から9月末までの長い期間、テキスト作りからリハーサルそして本番の講習会と毎回初体験ばかりで、皆様からいろいろとご指導いただきました。

また本番では熱心にパソコンに向かっている受講者のお姿をみて感心し、やりがいのある充実感を味わうことができました。

パソコンは日常生活の中で普通の道具になりつつありますが、「パソコン触りたいけど、難しいし、壊れるのでは」と思っている人も多いようです。でも毎日触っているうちに、とても面白い機械になってきます。

物事に挑戦する気力と思考力の衰えを切実に感じている私ですが、受講者の皆さまとともに「私も頑張らなあかん！！」と感じました。これからも いろんな事にチャレンジして「幾つになっても勉強！！」で頑張りたいと思います。